

事業計画書

①団体名	特定非営利活動法人吉備たくみ会
②事業名	社会とつながるための若者就労準備支援とみんなでつくるイベント事業
③テーマ区分	*いずれかにチェックし、指定テーマの場合は番号を記入 <input type="checkbox"/> 指定テーマ (番号:) <input checked="" type="checkbox"/> 自由テーマ
④補助回数	*同一事業における補助回数(年数)について、いずれかにチェック <input checked="" type="checkbox"/> 1回目 <input type="checkbox"/> 2回目 <input type="checkbox"/> 3回目(経過措置) <input type="checkbox"/> 4回目(経過措置)
⑤現状及び課題	新型コロナウイルス感染症の拡大によって、当事者が外出への不安を感じ、また、支援者の訪問などが困難になるような状況が支援をより難しくしてしまっている。外出ができず自宅で過ごす精神障害者やひきこもり者達の社会との接点は少なくなる一方で、社会復帰への距離は遠ざかる傾向になってしまう。働けない状態にあり、社会貢献できないあるいは世の中から外れてしまったと感じる方々は増える一方である。
⑥事業目的	ひきこもり状態の方々、障がい者と認定されない方々の支援は障がい者支援と比較して圧倒的に少なく、支援活動に取り組む団体も少ないのが実情である。備中地域の関係機関が連携し、社会との繋がりを失って孤立化していく若者に寄り添って社会との接点を繋げ、将来的に自立へと繋がるようなサポートを行うことを目的とする。
⑦事業内容	事業項目1 <small>※位置づけ(狙い)、内容、受益者(対象者)、実施地域、実施方法など</small> ものづくりによるひきこもり支援 【狙い】 ものづくりを通じて社会とつながる機会を得る。 【内容】 木工や縫製などの内職作業(下準備を含める)。 【対象者】 ひきこもり状態、あるいは何らかの理由で就労が難しい若者 【実施地域】 高梁川流域(倉敷、総社、井原、高梁、浅口、新見、笠岡) 【実施方法】 対象者に訪問・リモート(メール・電話)で内職の材料や技術指導を提供し、自宅で内職作業を行ってもらう。通所可能な対象者は、たくみ会に通所し内職の下準備作業を行ってもらう。
	事業項目2 みんなでつくるイベント事業(新規) 【狙い】 接客・販売等の就労体験を通じて社会とのつながりを作る。 【内容】 イベントで、弁当等の準備・弁当等の販売・接客・片付け。 【対象者】 ひきこもり状態、あるいは何らかの理由で就労が難しい若者 【実施地域】 倉敷市内のイベントからスタートして、総社市など場所があれば要望に応じて高梁川流域で実施。 【実施方法】 接客や販売の体験をってもらう。対人面での作業が苦手な方は、準備(弁当の盛り付け等)や片付けを行ってもらう。
	<small>*天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応</small> ものづくりによるひきこもり支援は、通所は控えてもらい、対象者全員自宅での内職作業とし、メール・電話による相談対応などリモートによる支援を中心に行う。連絡にはメール・電話等を活用し、材料などのやり取りは郵便・宅配便等を利用する。
⑧事業の条件及びアピールポイント	先進性、先駆性、独自性 障がい者支援の枠組みから外れてしまう方々を対象とした支援活動に取り組む団体は少ない。全国的にも珍しいひきこもり者へのものづくりによる支援事業に取り組んでいる。
	備中地域への波及効果 倉敷と総社を中心とした支援事業を高梁川流域へと広げ、特に支援の取り組みが進んでいない県北地域への拡大を目指す。
	県民局との協働による相乗効果 様々な行政機関(各市町の保健福祉部局等)や社会福祉協議会との連携によって事業を周知することにより、支援を受けてなかった方々へも情報を届ける

	<p>クの充実を図ることができる。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・高梁川流域において障がい者支援の枠組みから外れてしまう方々が利用できる社会資源の拡充を図ることができる。
⑬事業展開の予定	<p>○ものづくりによるひきこもり支援</p> <ul style="list-style-type: none"> ・内職との連携で生産される商品を取り扱って頂く雑貨店等の実店舗での取引拡大を目指し、インターネット販売にも力を入れていく。 ・縫製作業の下請け業務件数を増やして、ミシン作業希望者にも対応して、自宅での作業の拡充を図る。 ・将来的には弊事業所にも商品販売コーナーを設置して、来店者が商品を手にとって購入することができる機会を作るよう目指す。 <p>○みんなでつくるイベント事業</p> <ul style="list-style-type: none"> ・対象者の要望等を聞きながら、倉敷市・総社市内等での活動回数を 月1回から月2回へと増やし、活動の機会を増やしていく。 ・連携できる関係団体を増やし、実施市町を広げていく。
⑭役割分担	<p>団体</p> <p>事業の企画と運営を担い、高梁川流域の関係機関に対し、事業対象者への事業周知、対象者と共に事業へ参加することを依頼する。</p>
	<p>県民局</p> <p>備中県民局管内市町や保健所・支所、関係機関等に事業のチラシを配付するなど、事業が広く周知されるよう支援する。</p>
	<p>その他の連携・協力団体（組織・団体名：特定非営利法人KUKKA/MammaCafe、合同会社システムGenKi）</p> <ul style="list-style-type: none"> ・KUKKA/MammaCafe：イベント時、弁当作りの協力や接客方法の助言を依頼する。 ・GenKi：内職作業対象者との連絡、材料管理、検品、発送等の事業管理業務と、イベント事業で使用する物品（什器）の設計製造を依頼する。

<記入上の注意事項>

- 1 各項目は、簡潔かつ明瞭に記入してください。
- 2 「④補助回数」欄の3回目及び4回目は、経過措置規定を適用した上で、令和2年度事業に採択された事業を令和3年度以降も継続実施している場合のみ選択ができます。
- 3 「⑤現状及び課題」欄は、事業実施の要因となる地域課題や問題点、社会的背景等について記入してください。なお、根拠となる統計データや当事者の声などがあれば、それも示してください。
- 4 「⑥事業目的」欄は、事業を通じて実現したいこと、目指す将来的な姿（社会、経済、生活、環境等）について、「⑤現状及び課題」、受益者（対象者）等を踏まえて記入してください。
- 5 「⑦事業内容」欄は、課題解決や「⑥事業目的」における位置づけ（狙い）とともに、内容、受益者（対象者）、実施地域、実施方法などを事業項目ごとに具体的に記入してください。また、天災地変、感染症等で事業が実施できない場合の対応（代替案の検討、事業縮小、事業中止等）についても併せて記入してください。なお、事業項目数は適宜追加いただいて構いません。
- 6 「⑧事業の条件及びアピールポイント」欄は、事業条件としている広域性又は先進性、先駆性と協働による相乗効果に関すること、団体の持つ専門性やノウハウ等のアピールポイントについて具体的に記入してください。なお、先進性、先駆性は、他地域での先進例や成功例等もあれば、それも参考として記入してください。
- 7 「⑨今年度に期待される成果・効果」欄は、事業実施により得られる今年度の利益や変化等について記入し、「⑩将来的に期待される成果・効果」欄は、事業を継続して行うことで、将来的に得られる利益や変化等について記入してください。
- 8 「⑪今年度の成果目標と評価指標」欄は、今年度事業で目指すところ（短期の成果目標）を個別・具体的に3つ程度記入するとともに、事業を評価するための指標と、実施前（現状）と実施後（目標）の数値を記入してください。また、事業を継続される場合は、翌年度若しくは数年後（目標）の数値も参考として記入をお願いします。なお、具体的な数値が得られないもの（定性評価）についても、「何割程度の回答が得られる」などのように、できるだけ数値化し、状態の変化を測るよう努めてください。
- 9 「⑫中・長期的な成果目標」欄は、事業を継続、段階的に拡充するなどし、中・長期的に目指すところ（中長期的成果目標）について、具体的に記入してください。
- 10 「⑬事業展開の予定」欄は、「⑥事業目的」や「⑫中・長期的な成果目標」を踏まえ、翌年度以降に実施する予定の事業内容、組織体制、財源確保の手法、事業継続の工夫等について記入してください。
- 11 「⑭役割分担」欄は、協働協定書に基づく提案団体及び備中県民局の役割を簡潔に記入するとともに、その他の連携・協力団体の役割等を記入してください。
- 12 記入箇所が不足する場合は、必要に応じて行挿入等を行ってください。

日程計画表

年月	事業内容	場所	規模等
R4年 5月～	<p>1. ものづくりによるひきこもり支援</p> <p>①内職作業の運営と管理 【内容】ひきこもり状態、あるいは何らかの理由で就労が難しい若者の支援を行う支援機関が、対象者をたくみ会に紹介する。たくみ会は対象者に、訪問・リモート（メール・電話）により技術指導を行う。合同会社システム GenKi に委託し、内職作業対象者との連絡、材料管理、検品、発送等を行い、完成した作品を買い手に届ける。 【想定参加者数】10名</p> <p>②商品の販売 【内容】商品を取り扱っていただける雑貨店や自主管理するホームページによりインターネット販売を行う。</p> <p>2. みんなでつくるイベント事業 【内容】ひきこもり状態、あるいは何らかの理由で就労が難しい若者に、以下のイベントで弁当等の準備・弁当等の販売・接客・片付けを体験してもらう。 【想定参加者数】延べ30名</p> <p>①ロコロコマルシェ：特定非営利法人 KUKKA に委託し、住吉町の家 分福（倉敷市中央2丁目13-3）の営業許可を得ている厨房にて弁当を作成し、あちてらす倉敷にて月1回開催される「ロコロコマルシェ」で弁当等を販売する。</p> <p>②備中玉島みなと朝市：玉島商店街で第2日曜日に開催される「備中玉島みなと朝市」で珈琲と焼菓子販売する。</p> <p>3. 関係機関とのネットワーク作り 【内容】ひきこもり状態、あるいは何らかの理由で就労が難しい若者を支援している関係機関が、対象者に事業を周知したり、対象者が参加できるような働きかけを行うことができるよう、関係機関と連携を図る。 【想定地域】5市（倉敷、総社、井原、高梁、浅口）</p>	<p>倉敷市・総社市・井原市を中心とした高梁川流域の市町に在住する対象者の自宅</p> <p>雑貨店 インターネット上</p> <p>あちてらす倉敷</p> <p>玉島商店街</p> <p>倉敷市・総社市・井原市を中心とした高梁川流域の関係機関</p>	<p>対象者5名から10名に増やす</p> <p>商品取扱店舗3店から5店に増やす</p> <p>弁当50食</p> <p>珈琲30杯 焼菓子70個</p> <p>連携関係機関地域3市から5市に増やす</p>

<記入上の注意事項>

- 1 事業実施年度の年間スケジュール案を記入してください。
- 2 「場所」欄は、想定される実施場所を記入してください（例：〇〇市文化センター、△△市内）。
不明な場合、特定できない場合等は未記入で構いません。
- 3 「規模等」欄は、参加予定人数、印刷部数等数的に想定される量を記入してください。不明な場合は未記入で構いません。